

平成3年度県内で発生した魚病について

1. マダイ稚魚のオクロコニス症

(1) 発生地区	県内各地域において発生
(2) 時 期	種苗網入れ時
(3) 被 害	数尾から数十尾程度のへい死
(4) 経 過	蔓延することはなく種苗時の感染魚のみのへい死

2. マダイ稚魚の類結節症

(1) 発生地区	H漁協、Y漁協
(2) 時 期	4月下旬から5月
(3) 被 害	放養魚の半数程度のへい死
(4) 経 過	ほとんど感染したか水温上昇とともに、治まったようである。

3. ハマフェキ2年魚の不明病

(1) 発生地区	Y漁協
(2) 時 期	3月下旬から4月
(3) 被 害	数十から数百尾程度のへい死
(4) 経 過	計算すると放養密度が高かったので分養し、密度を下げると治まった。

4. シモフリアイゴ2年魚の細菌性疾病

(1) 発生地区	K漁協
(2) 時 期	7月中旬
(3) 被 害	ほとんどへい死（一部出荷）

5. シモフリアイゴ当年魚の不明病

(1) 発生地区	I漁協、O漁協、U漁協
(2) 時 期	12月
(3) 被 害	ほとんどへい死（一部出荷）
(4) 経 過	症状、へい死状況は3地区とも同様である。

6. シモフリアイゴ当年魚の細菌性疾病

(1) 発生地区	N漁協
(2) 時 期	8月下旬

- (3) 被害 数百から数千尾へい死
- (4) 経過 継続的に投薬すると一応治まった

7. マダイ当年魚の不明病

- (1) 発生地区 Y漁協
- (2) 時期 9月下旬から11月
- (3) 被害 放養魚の9割程度のへい死

※ 症状等から白点病と推定される。

8. マダイ2年魚の白点病

- (1) 発生地区 Y漁協
- (2) 時期 1月上旬から2月
- (3) 被害 放養魚の9割程度のへい死
- (4) 経過 餌止めし、沖出ししたものは治まった。

